

NGO-労働組合国際協働フォーラム 2020/2021 活動報告
(2020年9月1日～2021年8月31日)

はじめに

「持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals (SDGs)」への社会の理解が進み、取り組みが進む中、「誰一人取り残さない」包摂的な17のゴールを掲げたSDGsの達成には、より一層のアクターの多様化と連携強化が重要であり、特に市民社会の役割の拡大は必須であることが認識されている。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が流行する中、本フォーラムは市民社会のアクターの中でもNGOと労働組合が協働を通じて社会課題の解決に取り組む場としてユニークさを活かし、「児童労働グループ【ゴール8】」、「HIV/AIDS等感染症グループ【ゴール3,8,10】」、「母子保健グループ【ゴール3,5】」を続けた。

I. フォーラム全体の活動

1. 活動体制

前期に改訂した規約に沿って運営を行った。

1) 連絡調整会議

- 第2回 2020年10月6日
- 第3回 2021年4月9日
- 第4回 2021年7月20日

2) 総会

2020年11月20日

3-1) グループ活動

- ・ 児童労働グループ【ゴール8】
- ・ HIV/AIDS等感染症グループ【ゴール3,8,10】
- ・ 母子保健グループ【ゴール3,5】

新規グループ活動の設立はなかった。

3-2) タスクチーム

広報タスクをメンバー有志で形成した。具体的な活動内容はII タスクチーム活動欄にて報告する。

4) 会費

NGOメンバー14団体、労働組合メンバー14団体から遅滞なく納付があった。

2. 共通活動計画

1) 広報活動

- ・ 講演

2020年11月24日慶応義塾大学での講義（全労済寄付講座オンライン配信）

- ・ フォーラムメンバーリストの管理・発信を行った。

・ 公式チャンネル（YouTubeやFacebook）については、広報タスクによる発信活動を踏まえて更新することとなった。

2) キャンペーン支援

「ミャンマー軍の過酷な弾圧を今すぐ終わらせて！」オンライン署名アクション（アムネスティ・インターナショナル日本）

3. 事務局体制

本フォーラムは、その事業遂行にあたり、労働組合側事務局として日本労働組合総連合会（連合）、NGO 側事務局として（特活）国際協力 NGO センター（JANIC）が共同で事務局を担った。グループおよびタスクチーム活動の事務局は III.課題別グループ活動欄にて報告する。

II. タスクチーム活動

1. 広報タスクチーム

1) 基本目標と活動

- ・本フォーラムの年間の広報活動と広報物の制作。Facebook および YouTube に掲載する公式ロゴから着手し、パンフレット（紙媒体）の制作是非を検討する。
- ・外部向け会合への企画協力
- ・本フォーラム設立 20 周年（2024 年）に向けたアイデアだし（今期以内での議論には至らなかった）

2) メンバー

日本労働組合総連合会神奈川県連合会（連合神奈川）
日本労働組合総連合会（連合）
（特活）アジア・コミュニティ・センター21
（一社）SDGs 市民社会ネットワーク（SDGs ジャパン）
（特活）シャプラニール＝市民による海外協力の会
（特活）国際協力 NGO センター

3) 実績

タスク会合を以下の通り開催し、新型コロナウイルス感染症流行 2 年目を迎える中で本フォーラムとして発信すべきテーマや方法について検討。「最も影響を受けている人びとの存在を伝えつつ、平時から社会課題に直面している方々に関わっている本フォーラムのアピール」を念頭に、ホワイトボードアニメーション形式での動画制作を行うことと公式 YouTube チャンネル等に力点をおいた発信活動を行うこととした。ホワイトボードアニメーション形式の動画の絵コンテ企画までを終え、実際の制作作業と同動画を活用した発信活動は次年度に行うこととなった。

タスク会合開催（9 回）

2021 年 2 月 25 日、3 月 31 日、4 月 22 日、5 月 14 日、5 月 26 日、6 月 3 日、6 月 30 日、8 月 20 日、8 月 31 日

III. 課題別グループ活動

1. 児童労働グループ【ゴール 8】

1) 基本目標

世界には 1 億 5200 万人、世界の子ども 10 人に一人が児童労働をしている現状がある（ILO、2017）。SDGs には、「2025 年までにすべての形態の児童労働を終わらせる」ことが目標 8 のターゲット 7 に掲げられた。当グループは、労働組合と NGO の連携を通じ、児童労働ネットワーク（CL-Net）とも協力しながら、児童労働問題が解決に向かうよう推進活動を行うことを基本目標とする。

※児童労働ネットワーク（CL-Net）とは

児童労働に問題意識をもち、日本からこの問題の解決に貢献することを目指す NGO、労働組合などが加盟するネットワーク。

2) 当年度（2020/2021 年）の目標

2021 年は国連が定めた「児童労働撤廃国際年（仮）」であることから、労働組合員や一般市民へ児童労働問題の現状を伝え、解決のために自ら行動を起こす人が増える契機となるよう取り組んでいく。

3) 参加組織

<労働組合：6組織>

- ・ IUF-JCC
- ・ 自動車総連
- ・ JAM
- ・ 情報労連
- ・ 日教組
- ・ UA ゼンセン

<NGO：4組織>

- ・ アムネスティ・インターナショナル日本
- ・ ACE <事務局>
- ・ 国際労働財団
- ・ シャンティ国際ボランティア会

4) 活動実績

5) 情報発信と啓発活動

労働組合員が児童労働の現状と解決のためにできることを知る機会を増やすため、学習会の開催と昨年度作成した啓発チラシと連動した動画の作成を主に行った。

- ・ 学習会については、当初グループ主催での開催を検討したが、児童労働への注目が集まりやすい「6/12 児童労働反対世界デー」に、共同して活動する「児童労働ネットワーク」主催のイベントが既に予定されていたことから、当該イベントを児童労働グループとしての学習会として位置づけ、グループとしては広報面の協力を行うこととした。
- ・ チラシと連動した動画の作成とチラシの印刷は、当初計画より遅れる形での進行となったが、6月に発表された児童労働の最新世界推計の情報を含む形で完成させることができた。
- ・ 児童労働の最新推計については、グループ内で共有する機会を持ち、グループメンバーの児童労働への理解を深めた。
- ・ その他、4月に出展を予定していた「第92回メーデー中央大会」はオンライン開催となり、グループとしては出展者紹介ページへの掲載のみでの参加となった。紹介ページには、昨年度作成したグループ活動紹介動画を掲載した。動画は現在121回（2021年9月9日時点）の再生数となっているが、出展者紹介ページ掲載が再生数の増加に寄与している可能性が考えられる。

6) CL-Net と共同事業

「ストップ！児童労働キャンペーン2021」の広報協力として、6月12日に開催された児童労働ネットワーク主催イベント告知や参加、組織内でのキャンペーンへの参加呼びかけを行った。

【キャンペーンの実績】

<オンラインイベント>

世界の現状を知り、アクションを起こそう！～2021年は児童労働の撤廃国際年です～

<https://stopcl2021.peatix.com/>

日時：2021/06/12(土)14:30-16:30

場所：オンライン

内容：ストップ児童労働キャンペーン2021紹介、児童労働最新世界推計解説と私たちができること

参加人数：52名

<レッドカードアクション>

・ 投稿枚数（Facebook、Instagram、Twitter 総計）：326枚

* 過去実績：264枚（2017年）、368枚（2018年）、1,530枚（2019年）、120枚（2020年）

- ・参加人数（Facebook、Instagram、Twitter 総計）：1,696 人
- ＊過去実績：4,693 人（2017年）、5,405 人（2018年）、7,650 人（2019年）

7) グループ会議、勉強会等

<グループ会議>

2020年9月1日、9月10日、12月11日、2021年4月23日、5月11日、6月24日

<勉強会>

・6月24日：児童労働の最新世界推計共有（講師：ACE 山下）

8) 成果と課題

<成果>

- ・児童労働ネットワークとの新たな連携の形として、イベント開催時の広報協力や（実現には至らなかったが）イベント共催の可能性を検討することができた。
- ・グループメンバーの協力を得て、昨年からの継続活動となっていた啓発チラシの印刷と連動した動画が完成させることができた。次年度以降の啓発ツールとして活用していきたい。

<課題>

- ・児童労働の状況が悪化し、児童労働に関する SDGs の達成目標年も迫る中、子どもたちの現状をどのように伝え、実感を持って活動に参加してもらえるか、また、情報発信先をグループメンバー組織に留まらず、フォーラム参加組織や連合加盟組織等に広げていけるか、関係者と相談しながら検討を進めていきたい。
- ・情報発信ツールとして、Twitter「NGO-労働組合国際協働フォーラム児童労働グループ」アカウントの利用も定期的に活用していきたい。
- ・グループメンバーの入れ替わりやオンラインでの活動が中心になる中で、メンバー間どのように連携し効果的に活動していけるか、実施方法を工夫していきたい。

2. HIV/エイズ等感染症グループ【ゴール 3,8,10】

1) 基本目標

SDG の目標 3「あらゆる年齢の全ての人々の健康な生活を保障し、福祉を促進する」のターゲット 3.3 として、「2030 年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった感染症を終息させるとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する」と挙げられている。また、全ての人々が経済的困難に直面することなく必要とする保健医療サービスを受けられることをめざすターゲット 3.8「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成」も世界の目標として重視されている。これを踏まえ、SDGs が目指す「誰一人取り残さない」社会を実現するために、当グループは SDGs 目標 3 の HIV/エイズを中心に感染症に関する課題に対して取り組む。

NGO と労働組合が協力し、労働組合員や一般市民に対して、国内外の HIV/エイズ等感染症の現状と正しい知識を伝え、予防と、職場内の差別や偏見の解消を図り、国際的な取り組みを行う。労働組合・NGO 双方のネットワークを通じて、その活動への支援参画を促す。

2) 当年度（2020/2021年）の目標

新型コロナウイルス感染症を含む HIV/エイズやその他感染症に関する課題について、一般市民・労働者への啓発に貢献する。

- ・グループ参加団体が、HIV/エイズやその他感染症、保健の課題に取り組む関係組織との協力関係を強化する。
- ・グループ参加団体がより一層 HIV/エイズ等の問題に関する知識を深めるため、グループ参加団体個々の持つ知見を共有し、より効果的に啓発活動を行えるよう研鑽に努める。

3) 参加組織

<労働組合：2 組織>

- ・インダストリアル・JAF
- ・国際食品労連日本加盟労組連絡協議会

<NGO：4 組織>

- ・シェア＝国際保健協力市民の会

- ・難民を助ける会
- ・グローバル連帯税フォーラム
- ・アフリカ日本協議会<事務局>

4) 活動実績 (イベント開催、出展)

1 NGO で10年! 国際保健キャリアと子どもの笑顔あふれる東ティモールの話を聞こう (共催)

日時: 2020年12月9日(水) PM7時30分~9時

場所: オンライン

参加人数: 23名

活動内容/実績: 東ティモールに駐在した経験の豊富なシェアの職員より、住民が抱える課題や、シェアのアプローチなど、国際保健活動の様子を紹介した。また、国際保健や国際協力に関心のある参加者にキャリアパスについて説明して関心を高めるとともに、具体的な情報提供を行った。

2 座談会 (日本ハム・全日本労働組合、伊藤ハム労働組合)

日時: 2020年10月16日

場所: オンライン

参加人数: 9人

活動内容/実績: シェアより技能実習生および外国人労働者の直面している課題、サポートの必要性、企業にとっても場合によってはリスクとなる可能性について発表した。労働組合側からは、両企業ともに基本的な労働条件は日本人と変わらない対応が行われていること、ただし特にサプライチェーンの他企業との関係において、どのような条件で労働者が働いているかを把握することが難しい場合もあること、また、ブローカーとの労働者の関係によるところもあることなどの説明があり、意見交換を行った。今後も機会があれば互いに情報交換していくことを確認した。

3 連合 労働法制局との座談会

日時: 2021年6月2日(水) PM1時~2時15分

場所: オンライン

参加人数: 11名

活動内容/実績: これまでにも開催した座談会シリーズの一環として、連合の労働法制局と外国人労働者と保健の問題について意見交換を行った。連合がかかわっている国の制度や取り組みについてや、地方での先進的な取り組みの話聞いた。NGO側からは、外国人労働者と健康の課題についての現在の取り組みや情報交換できる場について話し合った。外国人の労働問題に関する取り組みの内容や懸念事項などを伝え、今後の協力できる分野などを意見交換した。

4 東ティモールフェスタ「変わりつつある? 東ティモールのお産事情の「今」を知る (共催)

日時: 7月3日(土) PM3時45分~4時45分

場所: オンライン

参加人数: 68名

活動内容/実績:

東ティモールの魅力を存分に感じられる「知って! 味わって! つながる!」をテーマに開催されたオンラインイベント「東ティモールフェスタ」では東ティモールに関するトークや語学ワークショップ、現地ミュージシャンによる音楽ライブが行われた。その一環として人口の約半分が子どもの国「東ティモール」のお産事情について、日本との違いや現地の人の話から、現状や変化についてシェア=国際協力市民の会の東ティモール駐在員が報告し、質疑応答、意見交換を行って東ティモールの重要な課題の1つであるお産の事情や母子の感染症のリスクなどについて理解を深める内容となった。

5 ホットジェネレーションフレンドシップスペシャルコンサート（共催）

日時：8月16日（月）昼の部 PM3時30分～4時30分、夜の部 PM5時30分～6時30分

場所：スクエア荏原ひらつかホール

参加人数：400名（出演者・関係者含む）

活動内容/実績：

NGO シェアのカンボジア・東ティモール・日本の活動地において、各国の歴史や保健事情とともに、NGO スタッフがコロナ禍でどのように対応し、未来を見据えているのかについて歌とダンスにのせて伝えるという内容であった。当グループでは、感染症対策をしたうえで、エイズ啓発のメッセージの入ったティッシュや、カンボジアの保健状況と新型コロナの影響と医療格差に関してまとめたチラシを観客に配布した。さらに会場内においてアナウンスを流したり、会場にブースを出展した。

5) 成果と課題

<成果>

前年度から続けている労組と感染症グループの座談会を今年度も開催することができた。新型コロナウイルス感染症のなか、特に負の影響を受けやすい外国人労働者を取り巻く課題について、連合の基本的な方針を学ぶとともに情報交換を行った。今後の活動につなげるためにも、それぞれの立場の現状や懸念事項を互いに理解し念頭に置いておくことの重要性を再認識できた。労働組合の多様な側面や労働組合同士の取り組みの違いについても、座談会を重ねるにつれて見えてきた部分があった。その他イベントへの共催を通して、コロナのなかでも感染症ゆえの差別や偏見を受けない権利の重要性や途上国の医療アクセスの問題についてチラシ等で情報提供をすることができた。

<課題>

メーデーを含め対面のイベントは今年度も廃止となり、広がりを持った活動を展開することは難しかった。また、労働組合とNGOとの理解促進と情報交換のための座談会を今後、どのような形でより多くの人々に伝え、共に考える機会を持ち、あるいは具体的な協力やそのための環境整備につなげていくことができるかを検討していく必要がある。

3. 母子保健グループ【ゴール3、5】

1) 基本目標

- (1) 労働組合とNGOが協力し、国際的な母子保健の課題について継続的かつ分かりやすい啓発活動を行い、組合員や一般市民に課題意識を高めてもらう（啓発拡大）
- (2) SDGsのゴール3と5：あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し福祉を促進する/ジェンダー平等を実現するための実現可能なアクションを促し、参画を拡大化させる（行動促進）

2) 当年度（2020/2021年）の目標

コロナ禍のなか、今までとは違った活動を展開していき、基本目標の実現に、労働組合、NGOと力を合わせていく

3) 参加組織

組合

- ・全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会（電機連合）
- ・日本基幹産業労働組合連合会（基幹労連）
- ・国公関連労働組合連合会（国公連合）
- ・自治労（全日本自治団体労働組合）

NGO

- ・公益財団法人ジョイセフ<事務局>

4) 活動実績

- (1) 2021/8/18 自治労会議、自治労女性部総会にて、ジョイセフの資料及びコーヒー試飲配付。
- (2) イベント開催、出展
なし
- (3) グループ会議、勉強会等
2020/11/24 慶応義塾大学全労済協会寄附講座「公共私による新しい福祉価値の創造（全12回の第8回目として）」参加。（ジョイセフ佐藤幸子）（連合会館）

<グループ会議> すべて zoom 会議

2020/12/24

出席：電機連合 高橋・大林／基幹労連 秋山／国公連合 渡邊／自治労 窪田
ジョイセフ 佐藤

2021/05/19

出席：電機連合 高橋・大林／基幹労連 秋山／国公連合 渡邊／自治労 窪田
ジョイセフ 佐藤

2021/08/04

出席：電機連合 高橋・大林／基幹労連 秋山／自治労 窪田
ジョイセフ 佐藤

<勉強会> 実施せず。

5) 成果と課題

新型コロナウイルスの影響のため、昨年引き続き活動が縮小。後半になって、広報活動としてのコーヒー試飲用配付を実施できました。

以上